

月刊しばうら

2020年10月号

牛肉営業部

令和2年度全国肉用牛枝肉共励会
セリ販売日10月30日(金)

令和2年度全国肉用牛枝肉共励会が、来る10月27日(火)～10月30日(金)にわたり開催されます。当共励会は、肉用牛肥育技術の確立と枝肉の肉質向上ならびに経済性の増進に資するため、東京食肉市場に出荷実績を持つ全国各地の出荷者によって肥育された牛が、農林水産大臣賞、東京都知事賞を始めとした数々の栄誉を競います。出品頭数は500頭の上場頭数にて開催され、和牛去勢牛が265頭、乳用去勢牛及び交雑去勢牛が74頭、和牛牝が161頭を予定しております。

本年は新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、前夜祭及び褒賞授与式は中止とさせていただきます。何とぞ事情ご賢察の上、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

<行事予定>

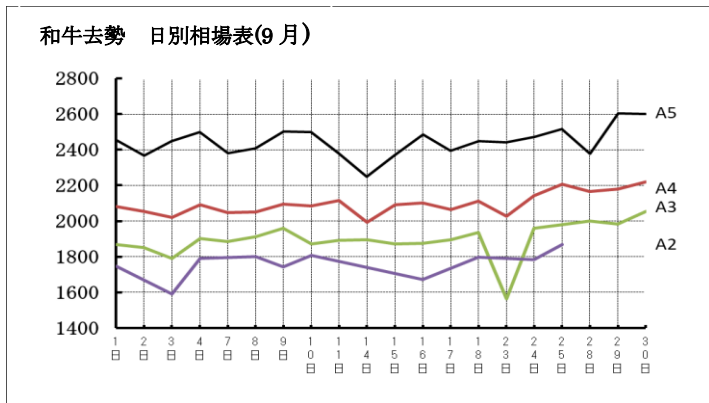
- 10月27日(火) 午前10時00分より出品牛測定(和牛牝)
- 28日(水) 午前8時30分よりと畜解体(和牛牝)
午前10時00分より出品牛測定
(乳用去勢牛及び交雑去勢牛・和牛去勢牛)
- 29日(木) 午前8時30分よりと畜解体
(乳用去勢牛及び交雑去勢牛・和牛去勢牛)
- 30日(金) 午前6時30分より枝肉審査
午前8時45分よりセリ販売

<9月の相場動向>

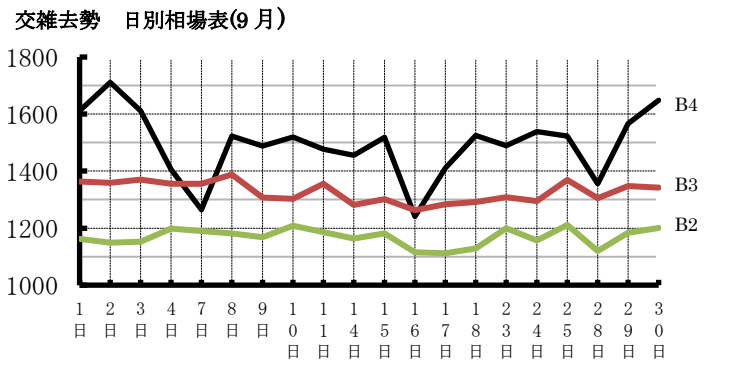
和牛去勢 A5 が前月比 43 円高の 2,453 円(前年同月比 292 円安)、A4 が同 47 円高の 2,103 円(同 328 円安)、A3 が同 66 円高の 1,915 円(同 281 円安)、A2 が同 100 円高の 1,752 円(同 221 円安)となり、交雑牛去勢は B4 が前月比 27 円安の 1,522 円(前年同月比 243 円安)、B3 が同 67 円安の 1,337 円(同 311 円安)、B2 が同 69 円安の 1,172 円(同 338 円安)、乳牛去勢は B2 で前月比 43 円安の 787 円(前年同月比 162 円安)となった。

和牛は各種補助事業が奏功し3～4等級を中心に月末にかけて強含みの展開となった。交雑牛については、オーダーが和牛へシフトしたことで和牛ほどの伸びはみられなかった。**和牛去勢(月平均)**

A5	2,453 円	(前年同月比 89.4%)	(前月比 101.8%)
A4	2,103 円	(〃 86.5%)	(〃 102.3%)
A3	1,915 円	(〃 87.2%)	(〃 103.6%)



A2	1,752 円	(前年同月比 88.8%)	(前月比 106.1%)
交雑去勢(月平均)			
B4	1,522 円	(前年同月比 86.2%)	(前月比 98.3%)
B3	1,337 円	(〃 81.1%)	(〃 95.2%)
B2	1,172 円	(〃 77.6%)	(〃 94.4%)



乳牛去勢(月平均)			
B3	上場なし		
B2	787 円	(前年同月比 82.9%)	(前月比 94.8%)

<10月の牛肉輸入量予測>

農畜産業振興機構の予測による10月の牛肉輸入数量は、前年比13.3%減の4万8000tで、チルドは同15.9%減の2万1,400t、フローズンは同10.9%減の2万6,600tとしている。

とりわけチルドは新型コロナウイルス感染症の影響による外食需要の減退と、豪州の減産による現地価格の高騰や港湾ストの影響により輸入数量の減少が予測される。

輸入牛肉通関量		8月	前年同月	前年同月比
チルド	豪州	7,653	11,490	66.6%
	米国	9,878	12,342	80.0%
	その他	1,829	2,296	79.7%
	合計	19,360	26,128	74.1%
フローズン	豪州	12,162	13,255	91.8%
	米国	10,456	8,449	123.8%
	その他	5,224	5,691	91.8%
	合計	27,842	27,395	101.6%

出典：食肉速報 単位：t

<10月の全国出荷頭数予測>

農畜産業振興機構による10月の成牛の出荷頭数予測は、前年比0.5%増の9万1,500頭で、品種別にみると和牛は同3.7%増の4万100頭、交雑種は同1.7%減の1万9,800頭、乳用種は同2.4%減の3万頭としている。引き続き和牛の出荷頭数は増加、交雑種・乳用種は減少傾向となっている。

東京食肉市場の10月と畜頭数は8,500頭を予定しております。

<10月の牛枝肉相場見通し>

都心の末端需要は依然鈍いものの、各種補助事業により9月の後半から強含みの相場展開となっている。10月については、年末に向けた手当の動きも始まるとみられ和牛は強含むものと予測される。交雑牛は出荷頭数が少ないものの、オーダーが和牛にシフトしているため強もちあい程度か。

和牛去勢	価格予測	交雑去勢	価格予測
A5	2,450～2,550	B4	1,500～1,600
A4	2,050～2,150	B3	1,300～1,400
A3	1,900～2,000	B2	1,100～1,200
A2	1,800～1,900		
乳牛去勢			
B3	1,000～1,100		
B2	850～950		

豚肉営業部

8月の全国と畜頭数は、前年同月比0.9%増の126万9,862頭となった。また、8月の豚肉通関数量は6万8,478t(前年同月比19.5%減)と前年同月を大きく下回り、前月比でも8.8%の減少となった。内訳はチルドが3万1,300t(12.5%減)、フローズンが3万7,179t(24.6%減)。

2019-2020年の需給量と推定期末在庫						
月	供給量		推定期末在庫		推定出回り量	
	生産量	輸入量	国産物	輸入物	国産物	輸入物
8	67,745	84,982	20,615	200,018	68,891	77,385
9	68,819	78,125	20,351	197,854	69,025	80,399
10	79,112	83,940	20,128	198,840	79,247	82,954
11	77,534	82,715	21,804	191,175	75,817	90,380
12	80,884	72,264	20,806	181,469	81,783	81,970
1	80,864	72,280	21,474	187,738	80,150	66,011
2	73,425	66,987	23,077	185,042	71,714	69,683
3	79,535	67,628	25,062	185,075	77,478	67,595
4	80,239	101,568	23,124	200,821	82,085	85,822
5	71,318	79,864	20,858	214,884	73,523	65,801
6	72,535	79,522	23,208	211,865	70,031	82,541
7	73,967	75,011	21,378	204,074	75,708	82,802
8	68,179	68,431	20,340	200,507	69,117	71,998
比	101%	81%	99%	100%	100%	93%

出典：農畜産業振興機構 比：最終月の前年同期比 単位：t

8月豚肉通関実績					
国名	冷蔵	前年比	国名	冷凍	前年比
アメリカ	15,048	87.8%	デンマーク	5,377	56.1%
カナダ	14,745	82.9%	スペイン	8,493	67.8%
メキシコ	1,505	175.2%	メキシコ	6,731	82.1%
			アメリカ	3,658	92.7%
			カナダ	2,800	120.5%
合計	31,300	87.5%		37,179	75.4%

単位：t

<9月の豚取引の推移>

上旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
1日	60,200	682	656	815
2日	59,600	655	623	712
3日	61,100	647	598	670
4日	55,800	650	609	853
7日	39,600	625	595	589
8日	60,200	640	604	911
9日	62,400	609	590	611
10日	66,400	599	565	693
平均	58,163/日			732/日

引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による安定した内食需要により、都市部の量販店などで堅調な引き合いとなった。一方、全国的に連日の猛暑により出荷頭数は減少傾向となり相場は高値が継続した。

中旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
11日	63,700	621	582	883
14日	64,500	612	557	670
15日	62,400	580	554	967
16日	63,900	582	560	628
17日	63,400	581	557	764
18日	62,600	598	575	943
19日		631	620	604
平均	63,417/日			780/日

9月も中旬となり秋らしい気候となってきた。朝晩も気温が下がり始めたが、出荷頭数は増加傾向とはならなかった。4連休前の手当により相場にも影響があるとみられたが、一時期に比べると荷動きは落ち着いており、相場も落ち着いた展開となった。

下旬	全国と畜頭数	上物価格	中物価格	上場頭数
23日	74,800			
24日	72,800	641	598	1,075
25日	67,400	633	600	1,043
28日	67,500	629	607	754
29日	67,900	600	574	1,047
30日	66,700	581	536	735
平均	69,517/日			931/日

4連休はGoToトラベルキャンペーンの効果もあり、観光地などを中心に賑わいを取り戻した。相場は連休明けの補充買いもあり24日には上物相場641円と上昇した。

<10月の豚枝肉相場見通し>

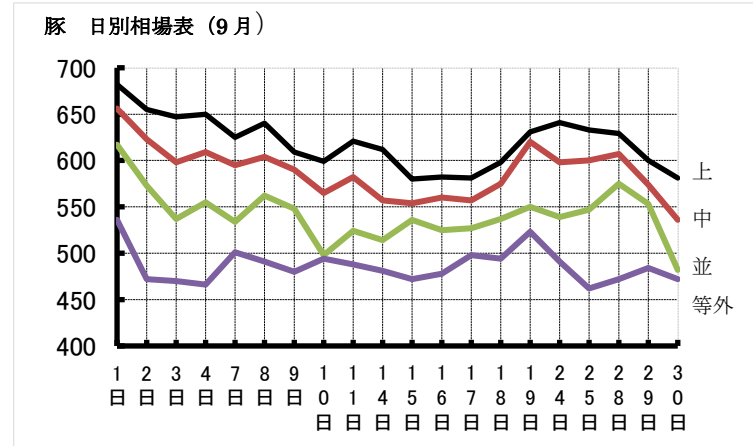
農林水産省による10月の肉豚出荷予測では144万8,000頭(前年比102%)と予測している。当市場の10月集荷予定頭数は1万8,000頭、1日あたりでは約818頭を見込んでおります。

農畜産業振興機構によると10月分の豚肉輸入見込数量は、総量で7万1,500t(同85.2%)、内訳は冷蔵輸入量が3万3,000t(同89.9%)、冷凍輸入量は3万8,500t(同81.5%)と予測している。

冷蔵品輸入量は、北米の供給減に加え新型コロナウイルス感染症の影響により買い付け時の国内需要が低調だったこと等から前年同月をかなりの程度下回ると予測する。また3ヵ月平均では前年同期をわずかに下回ると予測する。冷凍輸入量は国内の在庫が高い水準にあること、前年の輸入量が中国におけるASF(アフリカ豚熱)の影響による先高感で多かったことから、前年同月を大幅に下回ると予測する。なお3ヵ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。

10月は出荷頭数が本格的に回復することが予想され、相場も落ち着くものとみられるが、依然として堅調な内食需要に支えられて極端な下げとなることは考えにくい。

以上のことから当市場の上物平均価格は500円前後、中物平均価格480円前後の展開と予測する。



東京都港区港南 2-7-19
東京食肉市場 株式会社
TEL:03-3740-3111 FAX:03-3472-0127